

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21520	市民海外派遣事業費		担当課	海外戦略室		内線	2417
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	2	総務費		分野	5	地域	
	項	1	総務管理費		基本施策	1	地域に住み続けたいという思いを育てる	
	目	15	海外戦略推進費		施策	4	ふれあいの推進	
実施計画事業	市民海外派遣事業							
市長の約束								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学生以上の市民	受益者数	75人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民の国際理解の啓発を図り、幅広い知識をもった国際社会に対応できる人材を育成する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨高山国際協会が実施する英語スピーチコンテストと市教育委員会が実施する公募試験により派遣市民を選ばし、派遣先の言語や文化について学習会をした後、1週間の期間で海外へ派遣する。派遣先のカナダとオーストラリアではホームステイを通じて異文化や外国の生活習慣を学びながら交流を行う。中国では歴史文化遺産の見学や友好都市・麗江市との交流を通して両市の友好を深める。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	・事前学習会の充実		

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	派遣事業参加者	人	目標値	75	75	75	75
			実績値	75	75	63	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	84	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21決算額	H22決算額	H23予算額	H24実施計画額		
						歳出(千円)	(A)
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	0	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	11,377	14,324	16,000	16,000		
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
						受益者1件当たり(円)	(A/B)
①	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	75	75	63	75
				算出根拠等			

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・市民海外派遣事業を実施することにより、国際的視野を持ち、国際人として通用する人材の育成・強化が図られる。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・派遣の前段として実施される英語スピーチコンテストや公募選考の参加者がほぼ一定の人数で推移しており、ある程度のニーズがある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・事業の直接的な効果は参加者に限定されるが、参加者から他の生徒等への波及が期待できる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・計画通りの参加者を確保し、目標を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・現在の手法は概ね有効であるが、事前学習会の更なる充実が必要である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・事前学習会の充実に取り組んでおり、その結果、事業の効果が増すよう努めている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・派遣事業の諸経費の削減について検討している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・派遣に要する費用については、複数の旅行者から見積りを徴収した上で受託業者を選定しており、適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・派遣事業により参加者の国際感覚・国際意識の向上が図られている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		10.0 / 20.0	100点換算	50 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・事前学習会の改善 ・派遣事業における諸経費の見直し				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・平成22年度事業評価において、コスト削減に努めるとともに、将来の高山を担う人材の育成に向け、事業の効果測定を行い実効性を高めていく必要があるとの指摘をしており、こうした取組みを引き続き行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	16,000	16,000	0	16,000	16,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	16,000	16,000	0	16,000	16,000

予算要求の概要	市民の海外派遣事業実施に要する引率者の旅費及び参加者の旅費に対する助成
---------	-------------------------------------

要求額増減理由	
---------	--

事業実施の課題	派遣者を対象とした事前学習の充実
---------	------------------

財務部査定の考え方	・要求どおり
-----------	--------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに
----------	-------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21523	自治体職員協力交流事業費	担当課	海外戦略室	内線
	2417				
予算	会計	1 一般会計	政策		
	款	2 総務費	分野		
	項	1 総務管理費	基本施策		
	目	15 海外戦略推進費	施策		
実施計画事業					
市長の約束					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	受益者数	93,312 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・高山市の友好都市である中国雲南省麗江市職員を高山市役所に受け入れ、専門分野に関する研修を実施することにより、麗江市に対する国際貢献、両市の友好交流の推進、庁内の活性化、高山市の国際化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・中国雲南省麗江市職員2名を高山市役所に受け入れ、それぞれの専門分野に該当する部署で研修を実施する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	麗江市役所からの研修生受入人数	人	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	1	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	50	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			4,993	5,113	6,005	-
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	0
	その他特定財源			0	0	0	0
	一般財源			4,993	5,113	6,005	-
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
							目標値
①	受益者1件当たり(円)(A/B)	(A/B)	53	54	64		
			受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,666
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B	・友好都市である中国麗江市職員を研修生として高山市役所で受け入れることにより、両国・両市間の国際交流が推進される。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	・高山市内の複数の農家も麗江市からの農業研修生を継続的に受け入れており、友好都市である麗江市との国際交流、国際貢献に対するニーズは高まりつつある。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	C	・短期的な観点で見ると、事業効果は研修生及び研修生受入部署に限定されるが、研修生と市民がふれあう場を設けるなどして、長期的に両市間の国際交流・国際貢献に関する気運が高まるよう努める。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	・継続的に麗江市からの研修生を受け入れてきたことにより、高山市に対する麗江市の信頼が高まり、高山市で研修を受けた麗江市職員が、帰国後に各々の専門分野で活動し、両市間の交流促進に一役買っている。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	・麗江市の若手職員が庁内で精力的に研修に励む姿を見て、高山市職員の意欲向上が図られる等の波及効果も現れている。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・研修生の日本語の水準が低いため、麗江市に対し研修前に日本語講座の受講機会を与えるなどの改善をしよう望んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	A	・本事業に係る経費は、研修生の渡航費、家賃、日当(1日4,700円)が主であり、高山市での研修に最低限必要な経費のみを要求している。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	・受益者は高山市民のみならず、麗江市役所、麗江市民にも及び、麗江市への国際貢献、両市間の国際交流推進といった長期的な利益を鑑みると本事業に係るコストは妥当である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	・上述の通り、本事業に係るコストは研修生の渡航・生活費が主体の必要最低限のものであることから、研修内容の充実を図ることにより費用対効果を向上させて行く。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計		12.0 / 20.0	100点換算 → 60 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・研修生を2名を受け入れるとともに、麗江市、研修生受入部署との連携を強化し、研修内容の充実を図る。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・研修生の活動が見えるよう関係課との連携を図りつつ情報発信を行う必要がある。 ・研修生を市が費用負担して受けていることから、市民等に対する具体的な効果について明確化する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	6,005	6,286	281	6,343	6,343
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	6,005	6,286	281	6,343	6,343

予算要求の概要	中国雲南省麗江市職員2名を受け入れ、高山市役所関係部署において9ヶ月間の研修を実施することに伴う必要経費
要求額増減理由	賃貸住宅にかかる経費の増
事業実施の課題	研修内容の充実及び麗江市との友好交流推進

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・家賃借上にかかる費用の増
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21524	姉妹友好都市交流促進事業費	担当課	海外戦略室	内線	2417
予算	会計	1 一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	2 総務費	分野	5 地域		
	項	1 総務管理費	基本施策	1 地域に住み続けたいという思いを育てる		
	目	15 海外戦略推進費	施策	4 ふれあいの推進		
実施計画事業	海外の姉妹友好都市等との国際交流事業					
市長の約束	1	積極的な観光振興対策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人をめざします。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・海外の姉妹友好都市であるアメリカ・コロラド州・デンバー市及び中国・雲南省・麗江市との友好交流を促進する。また、ルーマニア・シビウ市、ペルー共和国・ウルバンバ郡、中国・雲南省・昆明市、フランス・トロワ市との友好交流を推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・海外の姉妹都市への市民派遣及び同都市からの市民受入れ		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	姉妹友好都市からの受入人数	人	目標値	20	50	10	30
			実績値	20	50	10	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
②	姉妹友好都市への派遣人数	人	目標値	2	120	10	20
			実績値	2	120	10	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
						歳出(千円)	(A)
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	0	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0	0		
一般財源		3,116	8,345	3,650	6,700		
コスト指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	33	89	39	72
			実績値	94,235	93,822	93,312	93,666
②	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・市民の国際意識の向上を図るとともに、観光面での交流をすすめることにより、外国人観光客の増加につなげることができる。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・国際化社会の進展に伴い、市民の姉妹・友好都市を含めた海外への関心は高まっており、ある程度のニーズがある。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・現在、事業の受益者は国際交流に関心のある個人・関係団体等に限定されており、さらに幅広く市民を対象とした取組みが必要である。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・計画通り、派遣、受入目標達成しており、海外との交流人口増加による活性化を図る。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・海外との交流をより活性化させるため、新たに中国・昆明市、ペルー・ウルバンバ郡、フランス・トロワ市との友好交流を推進する。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	・派遣・受入とも円滑に事業を遂行している。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	・平成24年度は、交流先の増加により、増額要求を増すが、国際交流の活性化により、より多くの受益が得られるようにする。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・派遣に要する費用については複数旅行社からの見積もりにより、受託業者を選定しており概ね適正である。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・投入コストに対し、市民の国際意識向上が図られる等、一定の効果が出ている。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		12.0 / 20.0	100点換算		60 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	新たに、ルーマニア・シビウ市、ペルー共和国・ウルバンバ郡、中国・雲南省・昆明市、フランス・トロワ市との友好交流を推進し、これまでの人的な国際交流のみに留まらず、文化的交流、歴史的遺産や町並みの保護に関する技法についての情報交換、経済交流等幅広い交流により、国際交流の活性化を図る。								

総合評価(二次評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・昆明市を含む新たな友好交流都市提携においては、市民意識の醸成に配慮しながら推進する必要がある。また、どのような都市と提携するのかについての「基準」のようなものを定める必要がある。 ・一部の市民のみの交流とならないよう市民全体への還元方法について検討する必要がある。								

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	3,650	10,454	6,804	5,950	5,950
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	3,650	10,454	6,804	5,950	5,950

予算要求の概要	高山市・麗江市友好都市提携10周年記念事業に対する助成 民間団体の姉妹友好都市への訪問団派遣に対する助成
要求額増減理由	高山市・麗江市友好都市提携10周年記念事業等の経費の増
事業実施の課題	多様な交流をすすめる市民の国際意識・国際感覚の向上を図ることによる費用対効果の向上

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・高山市・麗江市友好都市提携10周年記念事業等の経費の増
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21525	国際交流事務費		担当課	海外戦略室		内線	2417
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	2	総務費		分野	5	地域	
	項	1	総務管理費		基本施策	1	地域に住み続けたいという思いを育てる	
	目	15	海外戦略推進費		施策	4	ふれあいの推進	
実施計画事業	国際交流事務費							
市長の約束	1	積極的な観光振興対策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人をめざします。						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・高山市と海外諸都市との国際交流の促進及び民間国際交流団体・個人の活動支援を行い、地域の国際化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・海外からの来客時及び高山市内の国際交流団体・個人が海外で国際交流活動を実施する際の支援		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
①	異文化ふれあい講座受講者	人	目標値	500	500	500	500		
			実績値	481	543	500			
算出根拠等			達成率(%)	96	109	100			
②	シビウ国際演劇祭ボランティア派遣者	人	目標値	4	4	4	4		
			実績値	4	4	4			
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100			
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
①			目標値						
			実績値						
算出根拠等			達成率(%)						
②			目標値						
			実績値						
算出根拠等			達成率(%)						
事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
歳出(千円)(A)				2,606	2,877	2,356	2,400		
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	0		
	その他特定財源			0	0	0	0		
	一般財源			2,606	2,877	2,356	2,400		
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				①	受益者1件当たり(円)(A/B)	28	31	25	26
				②	受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,666
				算出根拠等					

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・市民外国語講座や国際ボランティアの派遣により、国際観光都市に相応しい国際感覚を持った人材の育成に大きな役割を果たしている。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・外国人観光客及び外国籍住民とも増加傾向にあり、市民の国際意識は高まりを見せている。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・受益者は国際交流に関心のある個人や関係団体等に限られているが、活発な広報活動により、本事業に対する関心を高め、より多くの市民を対象とした取組みが必要である。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・シビウボランティアスタッフ及び異文化ふれあい事業の応募者は目標を達成しており、飛騨高山国際協会の事業に自発的に参加する市民も増えている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・外国語講座受講生の語学力を活かし、国際交流の場を拡げるなどの機会創出を図りたい。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・外国語講座の実施や国際ボランティアの養成により国際人として通用する人材の育成が図られる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	・経費は、外国語講座の実施及びボランティアスタッフ派遣に要する費用等であり、適正な予算執行となっている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	本事業により、市民が低廉な受講料で外国語講座を受講することができるなど、コストは適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・来年度からは、中国・昆明市、ペルー・ウルバンバ郡、フランス・トロワ市との交流推進を予定しており、投入コストに対し、交流人口が拡大するなどの成果が表れることが期待される。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		12.0 / 20.0	100点換算 → 60 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・来年度は、新たに中国・昆明市、ペルー・ウルバンバ郡、フランス・トロワ市との交流を推進することとし、飛騨高山国際協会を中心として、市民レベルでの国際交流の推進を図る。								

総合評価(二次評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・平成22年度事業評価において、飛騨高山国際協会の事務負担を行政が担っており、協会会員との役割分担について見直す必要があるとの指摘をしており、こうした対応を引き続き行う必要がある。									

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	2,356	8,056	5,700	5,596	5,596
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	800	700		700	700
一般財源	1,556	7,356	5,700	4,896	4,896

予算要求の概要	飛騨高山国際協会への助成
要求額増減理由	訪問団受入等による増 市長のフランス・トロワ市渡航、ウルバンバ郡渡航による増
事業実施の課題	飛騨高山国際協会の活動の積極的なPRIによる参加者の拡大 市民レベルでの国際交流の促進

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・友好都市提携にかかる訪問団受入等の費用の増
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21526	海外戦略推進事務費	担当課	海外戦略室	内線
	2417				
予算	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	
	款	2 総務費	分野	6 工業	
	項	1 総務管理費	基本施策	1 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	
	目	15 海外戦略推進費	施策	1 経営体質の強化	
実施計画事業	海外戦略推進事業				
市長の約束	1	積極的な観光振興対策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人をめざします。			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・高山市の国際化の推進に向けた海外における積極的な活動を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・誘客、物販等における海外戦略の推進		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 海外トップセールスの実施	算出根拠等	2回発行/月×12月	達成率(%)			100
指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②	算出根拠等	回	達成率(%)				-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
①	算出根拠等	40人/会場×21会場	達成率(%)				-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②	算出根拠等		達成率(%)				-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)			35,350			
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源	0	0	35,350	0		
	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
①	受益者1件当たり(円)(A/B)			379			
	受益者 市民(4月1日現在)(B)			93,312	93,300		
②							
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	・海外戦略の推進に向けた効果的なトップセールスの実施やJNTO、JETROなど関係機関との連携が図られる。
	B(1) 一部結びつく	C(0) 結びつかない		
	C(0) 結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある	B	・国内マーケットが縮小傾向にある中、海外からの観光客や外貨の獲得、交流が求められている。
	B(1) ある程度のニーズがある	C(0) 少ない、減少している		
	C(0) 少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	A	・海外戦略の実践により市民の国際意識の向上や地域の活性化が図られる。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ	C(0) わずかな受益者に限定される		
	C(0) わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)	評価対象外	H23新規事業のため
	B(1) 概ね達成している (75%以上)	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	・今後、海外戦略ビジョンを策定する中で、基本方針や具体的施策について定めていく必要がある。
	B(1) 概ね有効である	C(0) 見直しが必要である		
	C(0) 見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	評価対象外	H23新規事業のため
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない		
	C(0) 対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	・委託業務等について必要性の検証を行っている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない		
	C(0) 対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	
	B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	・ビジョン確定後、方針に沿った取組みとなっているか検証する必要がある。
	B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
合計	10.0 / 16.0		100点換算	63 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・海外戦略ビジョンの方針に基づき観光・物販・交流において相乗効果が図られるよう取組みを進める。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・海外戦略ビジョンを早期に策定し、観光・物販・交流において相乗効果が図られるような取組みを体系的・戦略的に実施する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	35,350	54,381	19,031	43,920	44,920
国庫支出金				1,100	1,100
県支出金					
起債					
その他	19,050	22,600	3,550	26,910	26,910
一般財源	16,300	31,781	15,481	15,910	16,910

予算要求の概要	誘客・物販等における海外戦略推進にかかる経費
要求額増減理由	トップセールス強化に伴う経費の増 海外誘客強化に伴う情報発信にかかる経費の増
事業実施の課題	国際観光と地元産品の海外販売の連携による相乗効果の創出

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・トップセールス強化に伴う経費の増 ・海外誘客強化に伴う情報発信にかかる経費の増
市長査定の考え方	・突発時に対応するための海外渡航旅費の増

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21528	外国青年国際交流員招致事業費	担当課	海外戦略室	内線	2417
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	2 総務費		分野	5 地域	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 地域に住み続けたいという思いを育てる	
	目	15 海外戦略推進費		施策	4 ふれあいの推進	
実施計画事業	国際交流事業					
市長の約束	1	積極的な観光振興対策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人をめざします。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地方公共団体が共同で実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業(通称JETプログラム)」の枠組みを活用し、友好都市の中国・麗江市、若しくは友好都市提携に向けて覚書を交わした中国・昆明市より、「国際交流員」を誘致し、麗江市・昆明市との国際交流事業、市民向け中国語講座等の業務に従事させ、高山市の国際化に役立つ。		
概要	事業の実施手法(手段)	国際交流員の主たる業務は以下の通りである。 ・麗江市、昆明市との国際交流事業の補助 ・市民を対象とした中国語講座(入門・初級・中級)の講師 ・中国人賓客訪問時の通訳 ・中国籍住民に対する支援		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画						
				目標値	実績値								
①	国際交流員の受入人数	人	目標値	1	1	1	1						
			実績値	1	1	1	1						
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100							
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画						
				目標値	実績値								
②			目標値										
			実績値										
算出根拠等			達成率(%)										
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額								
						歳出(千円)	(A)	1,071	894	1,268	1,200		
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	0	0	0	0								
	その他特定財源	0	0	0	0								
	一般財源	1,071	894	1,268	1,200								
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画								
						①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11	10	14	13	
						②	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	94,235	93,822	93,312	93,666
						算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・国際交流員は、これまで主に「国際交流」活動に従事してきたが、今年度からは中国版ツイッターで観光情報を発信するなど中国からの観光客誘致にも活躍している。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・国際交流員が講師を務める中国語講座の人気は高く、市内農家の麗江市農業研修生の受入に関して麗江市側との連絡役を担っている。近年では中国籍住民の生活相談等のニーズも増加している。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	C	・受益者は、中国語講座受講者、中国人研修生の受入農家・企業、中国籍住民等に限定されているが、経済発展の著しい中国との交流を促進し、同国から経済的利益を受取る上で、国際交流員は重要な存在である。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	・継続的に国際交流員を受入れてきたことにより、高山市に対する中国側からの信頼を得たことにより、国際交流事業等が円滑に実施できるようになった。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・「国際交流員」を従前の国際交流分野だけでなく、中国版ツイッターによる情報発信など、中国人観光客誘致等他分野でも活用した。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	C	・国際交流員の活動分野を拡げ、市民と接する機会を増やすなど、本事業の有効性が市民に理解されるよう努める必要がある。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	・本事業に係る経費は、国際交流員の渡航費、家賃、報酬が主であり、高山市での職務に最低限必要な経費のみを要求している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・受益者は高山市民のみならず、中国側にも及び、中国に対する国際貢献、両国間の国際交流推進といった長期的な利益を鑑みると本事業に係るコストは妥当である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・「国際交流員」の報酬(月額30万円)の適否については、賛否があるが、優秀な交流員を採用し、幅広い分野で仕事を与えることにより費用対効果を高めていく。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算	65 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・中国から国際交流員1名を受け入れるとともに、中国側との連携を強化し、より幅広い分野での活動を計画する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・事業がマンネリ化しており、もっと広く市民と交流できる場を創出する必要がある。 ・来航した外国青年が、帰国後も「親善大使」として市における海外戦略の一翼を担えるような仕組みについても検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	1,268	1,329	61	1,288	1,288
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	1,268	1,329	61	1,288	1,288

予算要求の概要	中国から国際交流員1名を招致し、市民を対象とした中国語講座などを実施することに伴う交流員の渡航費、家賃等の経費
要求額増減理由	(財)自治体国際化協会、(財)全国市町村研修財団に対する負担金の増
事業実施の課題	幅広く市民を対象とした国際交流員の有効活用

財務部査定の考え方	・積算内容を精査し前年並み事業費とする
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり